A photograph of several bright yellow sunflowers in full bloom, positioned in the foreground. In the background, there is a building with vertical white panels and a dark metal fence. The scene is set outdoors with green foliage visible behind the fence. The image is framed by a red border that tapers at the corners.

大阪教育大学 環境報告書 2011

イエローライン・プロジェクト

幸せの絆をテーマに「ひまわり」「かぼちゃ」「黄色の水仙」など黄色の花で人々を結びつけるプロジェクトです。表紙の写真は今年の3月大きな震災を受けた日本、放射能を少しでも減らせるかとの思いと、いつも太陽に向かって咲くひまわりをみていただいて、皆さんの笑顔が少しでも増えることを願って総合図書館の南側に植えた「ひまわり」達です。

CONTENTS

学長挨拶	1
大阪教育大学環境報告書2011作成にあたって	2
大学概要	3
事業概要	5
環境方針	6
環境マネジメント組織	7
環境配慮実施計画	8
マテリアルバランス	12
環境負荷データ	13
環境マネジメント活動の推進	15
配置図(柏原キャンパス)	25



学 長 挨 拶

環境報告書の公表にあたって（平成23年9月）



国立大学法人 大阪教育大学長
長 尾 彰 夫

大阪教育大学は、柏原の地に移転統合し、はや20年が経とうとしています。移転当初は採石場のあとであったことから、緑を育むのに大変な日々を過ごした記憶が浮かびます。現在は、先輩方の努力のおかげで、緑豊かなキャンパスに成長し、四季を感じられる、自然・人にやさしいキャンパスとして日々、学生の声が聞かれます。

3月11日、東北地方を襲った地震と大津波により原子力発電所が被災し、大量の放射能を放出するという大事故が発生し、いまだ事故処理の方向性が定まらない状況にあります。

今、エネルギー、環境、資源問題等の見直しを迫られる、大きな転換期であると考えられます。また、大学を取り巻く環境の変化は著しく、10、20年先を見据えた大学であるためには、多くの課題を解決しなければなりません。

大学は自らが学びを享受するとともに、知の根幹であることをも人々に知らせる存在であり、これらの追求は永遠に続くテーマでもあります。まさに、エネルギー危機元年、教員養成をおこなう大学として教育、研究、社会貢献の使命を果たすべく、時代を見極め、時代に流されることなく、人としての基礎、心を育てることに力をそそぐことが大切であると思っています。

大阪教育大学環境報告書2011作成にあたって

方針

「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律（環境配慮促進法）」の施行により、平成18年度より大阪教育大学では、環境報告書を作成、公表してまいりました。大阪教育大学は平成16年4月に法人化し、大学の独自性が問われる中、省エネの取り組み、古紙のリサイクル等環境負荷削減に取り組んでまいりましたが、なお一層の取り組みが必要であると考えております。大阪教育大学環境報告書2011は、本学の教職員、学生、本学への入学を希望されている方々、保護者及び近隣住民に対して、平成22年度の大阪教育大学の環境についての現状を報告するものとして作成いたしました。

報告書の対象範囲

大阪教育大学柏原キャンパス

報告書の対象期間

平成22年度(2010年4月～2011年3月)

参照ガイドライン等

- ・「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に基づく「環境報告書の記載事項」
- ・環境省「環境報告書の記載事項等の手引き」
- ・環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」

発行年月

平成23年9月

次回発行予定

平成24年9月

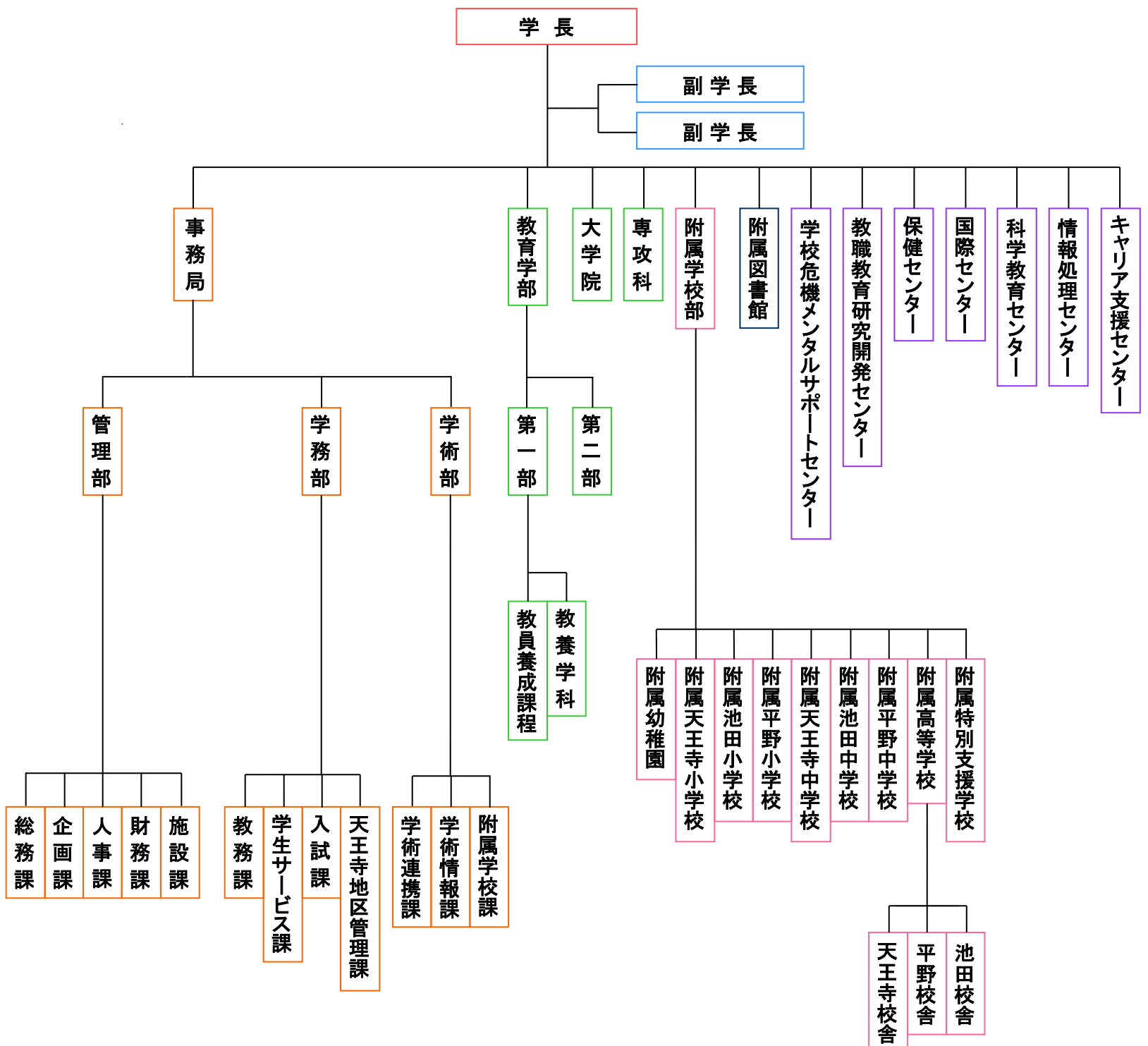


～緑に生まれ自然・人にやさしいキャンパス～

大学概要

大阪教育大学は、1874年(明治7年)8月に設置された教員伝習所にその起源を有する我が国有数の教員養成系大学です。

現在の大阪教育大学は、大阪府柏原市の金剛生駒紀泉国定公園内に約67万㎡のメインキャンパスを配置し、教員養成教育と教養教育を通じて有為な人材を輩出する一方、国際都市として交通アクセスはもとより情報・産業の中核機能を有する大阪市内に天王寺キャンパスを擁し、大阪市天王寺区、平野区及び大阪府池田市の3地区に初等・中等教育並びに特別支援教育に対応した附属学校園とともに総合的な教育系大学をめざしています。



2. 職員数

■役員数（平成22年5月1日現在）

学長	理事	監事	合計
1	4	2(1)	7(1)

※()は内数で非常勤

■職員数（平成22年5月1日現在）

教授	150
准教授	104
講師	15(2)
助教	1
附属学校教員	258
事務系職員	147

※()は内数で外国人教師

3. 学生数

■教育学部（平成22年5月1日現在）

第一部 教員養成課程・教養学科

教員養成課程	2,098(2)
教養学科	1,773(46)
合計	3,871(48)

第二部 小学校教員養成5年課程

1年次入学	215
3年次編入学	162
合計	377

大学院教育学研究科

学校教育専攻他17専攻	467(20)
-------------	---------

特別支援教育特別専攻科

特別支援教育特別専攻科	19
-------------	----

事業概要

本学は、その主目的である教員養成の他、幅広い教養と豊かな人間性を身につける教養学科を置き、加えて、それぞれを基礎に置く大学院を設置しています。

また、聴覚言語障害教育の充実に資するため、主として現職教員を対象とした特別支援教育特別専攻科を置いています。

1. 教育学部

本学教育学部には第一部〔柏原キャンパス〕・第二部〔天王寺キャンパス・夜間〕の教員養成課程と教養学科があります。

(1) 教員養成課程

① 第一部

卒業と同時に所属する課程・専攻に対応する教育職員一種免許状授与資格を得られるように編成されています。

課程は、学校教育教員養成課程、特別支援教育教員養成課程、幼稚園教員養成課程、養護教諭養成課程があります。

② 第二部

天王寺キャンパスにおいて、昼間に学べない勤労学生等のために門戸を開いており、課程は小学校教員養成5年課程で、卒業と同時に小学校教員一種免許状授与資格を得られるように編成しています。

(2) 教養学科

現代社会の要望に応える幅広い教養を身につけることができる人材を育成することを目的として、8専攻を設けています。人間科学専攻、文化研究専攻、数理科学専攻、自然研究専攻、情報科学専攻、スポーツ専攻・健康生活科学専攻、芸術専攻

2. 大学院教育学研究科(修士課程)

本学の大学院教育学研究科(修士課程)の組織は教員養成課程を基礎に置く大学院と教養学科を基礎に置く大学院に大別でき、その各々に現職教員、社会人等を対象とする夜間大学院を設けています。

また、すべての専攻において、基礎となる一種免許状授与の所要資格を有している場合に限り、専門分野に対応する教育職員専修免許状授与の資格を得ることが可能です。

(1) 教員養成課程を基礎に置く14専攻

- | | | |
|---------|---------------|----------|
| ①学校教育専攻 | ②国語教育専攻 | ③社会科教育専攻 |
| ④数学教育専攻 | ⑤理科教育専攻 | ⑥英語教育専攻 |
| ⑦家政教育専攻 | ⑧音楽教育専攻 | ⑨美術教育専攻 |
| ⑩保健体育専攻 | ⑪特別支援教育専攻 | ⑫技術教育専攻 |
| ⑬養護教育専攻 | ⑭実践学校教育専攻(夜間) | |

(2) 教養学科に基礎を置く4専攻

- | | | | |
|---------|-----------|---------|-------------|
| ①国際文化専攻 | ②総合基礎科学専攻 | ③芸術文化専攻 | ④健康科学専攻(夜間) |
|---------|-----------|---------|-------------|

3. 特別支援教育特別専攻科

聴覚言語障害教育の充実に資するため、主として現職教員を対象として特別支援教育に関する専門教育を行い、この分野における教育を担当し得る教員の養成を目的に設置しています。

修了年限は1年で、すでに教員免許を有しているものを対象としています。

環境方針

国立大学法人大阪教育大学 環境方針

■ 基本方針

大阪教育大学は、地球環境の保全が大きな問題であることを真摯に受け止め、教育研究及びあらゆる活動を通じて、地域を含めた良好なキャンパス環境の維持保全に努めます。また、教員養成系大学として高い学識と豊かな教養をもち、環境問題に理解のある人材を育成します。このため、特に次の事項について推進して行きます。

1. 省エネルギー、廃棄物の抑制、資源の再利用、環境汚染防止等全ての環境負荷の低減に継続的に取り組みます。
2. 美しく豊かなキャンパス環境の実現に向けた緑化整備、環境美化等について、全ての大学構成員の参加によるプログラムを推進します。
3. 環境に関する法令を遵守し、さらに自主管理規程を制定し、大学の社会的責任を果たします。
4. この基本方針を達成するため、環境配慮目標を設定し、環境情報を提供するなど、全ての大学構成員により、環境保全に取り組みます。
5. この方針は、BBS(電子掲示板)をもって全構成員に周知するとともにインターネットのホームページを用いて、広く社会に開示します。



平成23年9月

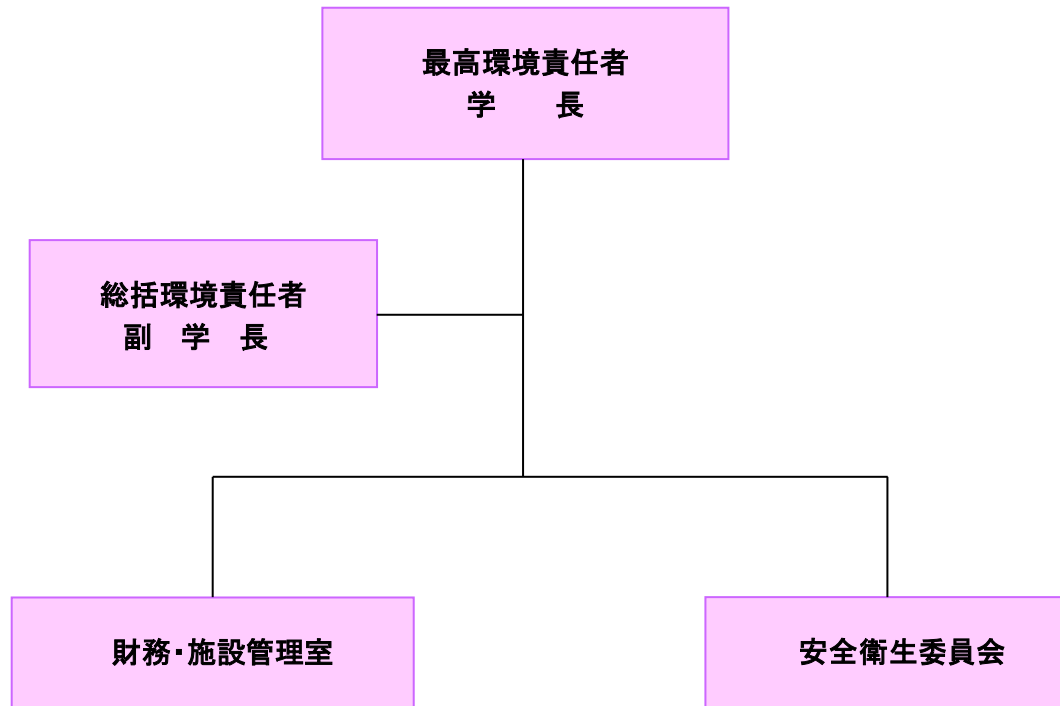
国立大学法人大阪教育大学
学長 長尾 彰夫

環境マネジメント組織

(平成22年5月1日現在)

本学には施設・環境に係わる計画、整備及び維持保全について、担当理事(副学長)を室長に教員、事務職員で構成する財務・施設管理室が審議検討を行っています。

又、教職員の危険並びに健康障害の防止等安全衛生については、担当理事(総務企画担当)を委員長に審議検討を行っています。



委員会等構成

財務・施設管理室	
担当理事(室長)	
管理部長	
指名職員	理事 1 名
	教員 1 名
	財務課長
	施設課長
	人事課長

安全衛生委員会(規程・第23条)
担当理事(委員長)
産 業 医
衛生管理者(学長指名)
危害防止担当者(学長指名)
安全衛生経験者(学長指名)
健康障害防止・メンタルヘルス対策(学長指名)
学長指名委員 2 名

環境配慮実施計画

大阪教育大学の環境配慮の目標は、「省エネルギー・省資源の推進」「廃棄物の抑制」「環境汚染防止」「環境教育等の充実」「地域貢献」「喫煙対策」「学内美化」の項目を実施計画とし、進めて行きます。

平成22年度の実施計画、評価

自己評価の○は計画達成、△は一部達成、×は未達成を示します。

■ 省エネルギー・省資源の推進

項 目	実 施 計 画	自己評価
エネルギー使用量・温室効果ガスの削減	<input type="checkbox"/> エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を前年度比1%削減する。 <input type="checkbox"/> 掲示物等で省エネの啓発を行う。 <input type="checkbox"/> 廊下・トイレ等の照明の自動点灯・消灯装置への更新、教室等の照明器具のHf型照明器具への更新する。	○
水使用量の節減	<input type="checkbox"/> 掲示物等で節水の啓発を行う。 <input type="checkbox"/> トイレの手洗い自動水栓の導入を行う。 <input type="checkbox"/> メーターを検針し、水使用量を把握して大きな漏水がないかチェックする。	○

■ 廃棄物の抑制

項 目	実 施 計 画	自己評価
一般廃棄物の排出抑制	<input type="checkbox"/> 分別回収の徹底強化 <input type="checkbox"/> 大学生協のランチボックス等紙パックの回収 <input type="checkbox"/> 掲示によるマナー啓発活動の展開	○
用紙使用量の削減	<input type="checkbox"/> 用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。 <input type="checkbox"/> 学内連絡や会議用資料の保存等を紙から電子記録媒体へ移行する。	○

■ 環境汚染防止

項 目	実 施 計 画	自己評価
実験廃棄物等の管理	<input type="checkbox"/> 学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。	○
実験廃棄物の廃棄	<input type="checkbox"/> 大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物等取扱者が、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、廃棄処分する。	○
実験用劇物等の管理	<input type="checkbox"/> 購入者がその都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。 <input type="checkbox"/> 大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は使用する毎に記載する。	○

■ 環境教育等の充実

項 目	実 施 計 画	自己評価
環境教育の充実	<input type="checkbox"/> 教材園での栽培を通して、自然環境の大切さを学ばせる。	○
環境保全意識の啓発	<input type="checkbox"/> 春と秋、年2回のキャンパスクリーン週間を設け、自分達を取り巻く環境は自分達の手で護らねばならないという意識の芽生えを図る。	○

■ 地域貢献

項 目	実 施 計 画	自己評価
森林体験学習	<input type="checkbox"/> 柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施	○
グリーンアドベンチャ (社団法人青少年 交流協会)	<input type="checkbox"/> キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、キャンパスを廻る野外活動で近隣地域の住民にも開放する。キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。	○
その他	<input type="checkbox"/> 星空を観察するという身近な方法で大気の流れを実感し、大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした「星空の観察会」の実施	○

■ 喫煙対策

項 目	実 施 計 画	自己評価
喫煙・分煙区域の指定	<input type="checkbox"/> 分煙対策として、引き続き禁煙区域の明示と喫煙場所の整理を行い、受動喫煙の弊害を抑制する。	○
啓発活動	<input type="checkbox"/> 喫煙者に対する健康意識の高揚や喫煙マナー向上に向けたPR活動を推進する。	○

■ 学内美化

項 目	実 施 計 画	自己評価
雑草の刈り取りとゴミの一斉収集	<input type="checkbox"/> キャンパスクリーン週間を年間2回設け、教職員と学生による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。	○
花壇の整備	<input type="checkbox"/> 計画的に整備する。	○
植栽の剪定	<input type="checkbox"/> 定期的に植木剪定業者を雇い剪定する。	○

平成23年度の目標

■ 省エネルギー・省資源の推進

項 目	実 施 計 画
エネルギー使用量・温室効果ガスの削減	<input type="checkbox"/> エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を前年度比1%削減する。 <input type="checkbox"/> 太陽光発電設備の設置等自然エネルギーの導入を推進する。 <input type="checkbox"/> 掲示物等で省エネの啓発を行う。 <input type="checkbox"/> 廊下・トイレ等の照明の自動点灯・消灯装置への更新、教室等の照明器具のHf型照明器具への更新、省エネに配慮した機器、システムの導入を推進する。
水使用量の節減	<input type="checkbox"/> 掲示物等で節水の啓発を行う。 <input type="checkbox"/> トイレの手洗い自動水栓の導入を行う。

■ 廃棄物の抑制

項 目	実 施 計 画
一般廃棄物の排出抑制	<input type="checkbox"/> 分別回収の徹底強化 <input type="checkbox"/> 大学生協のランチボックス等リサイクル <input type="checkbox"/> 掲示によるマナー啓発活動の展開
用紙使用量の削減	<input type="checkbox"/> 用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。 <input type="checkbox"/> 学内連絡や会議用資料の説明保存等を紙から電子記録媒体にする。

■ 環境汚染防止

項 目	実 施 計 画
実験廃棄物等の管理	<input type="checkbox"/> 学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。
実験廃棄物の廃棄	<input type="checkbox"/> 大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物等取扱者が、実験廃棄物等取扱責任者の指導監督の下、廃棄処分する。
実験用劇物等の管理	<input type="checkbox"/> 購入者がその都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。 <input type="checkbox"/> 大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。 <input type="checkbox"/> 受払簿は使用する毎に記載する。

■ 環境教育等の充実

項 目	実 施 計 画
環境教育の充実	<input type="checkbox"/> 教材園での栽培を通して、自然環境の大切さを学ばせる。 <input type="checkbox"/> 学内環境を通して、自然環境の大切さを学ばせる。
環境保全意識の啓発	<input type="checkbox"/> 春と秋、年2回のキャンパスクリーン週間を設け、自分達を取り巻く環境は自分達の手で護らねばならないという意識の芽生えを図る。

■ 地域貢献

項 目	実 施 計 画
森林体験学習	□ 柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施
グリーンアドベンチャ (社団法人青少年 交流協会)	□ キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、キャンパスを廻る野外活動で近隣地域の住民にも開放する。キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。
その他	□ 星空を観察するという身近な方法で大気の汚れを実感し、大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした「星空の観察会」の実施 □ 幼稚園の遠足の場所提供

■ 喫煙対策

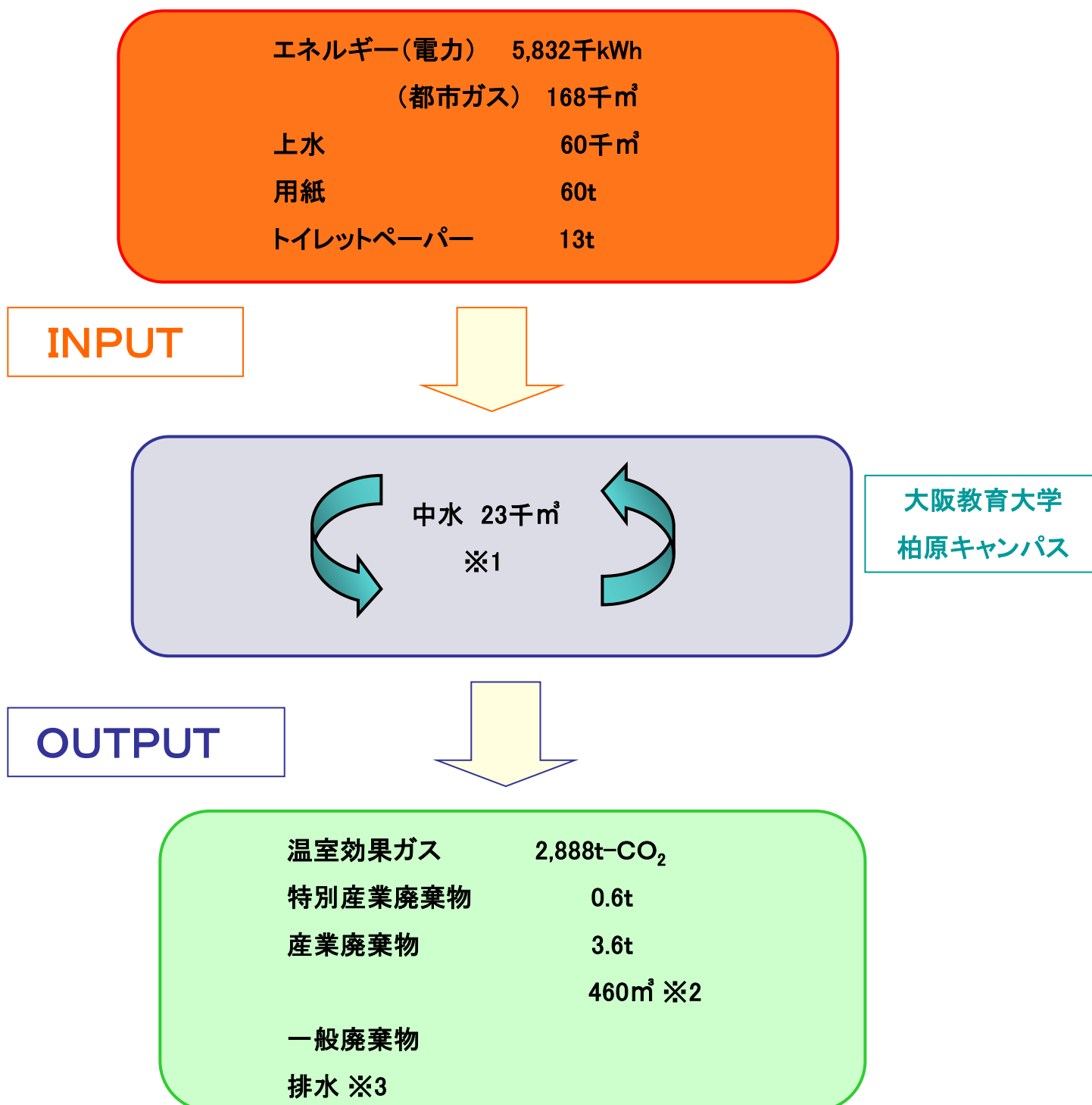
項 目	実 施 計 画
喫煙・分煙区域の指定	□ 分煙対策として、引き続き禁煙区域の明示と喫煙場所の整理を行い、受動喫煙の弊害を抑制する。
啓発活動	□ 喫煙者に対する健康意識の高揚や喫煙マナー向上に向けたPR活動を推進する。

■ 学内美化

項 目	実 施 計 画
雑草の刈り取りとゴミの一斉収集	□ キャンパスクリーン週間を年間2回設け、教職員と学生による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。
花壇の整備	□ 計画的に整備する。
植栽の剪定	□ 期日を決め定期的に剪定や草刈の実施をする。

マテリアルバランス

マテリアルバランスとは、大学の活動に伴う環境負荷の全体像で、大学の活動のために投入する資源等をINPUT、大学の活動の結果排出する環境負荷をOUTPUTとして表したもので、平成22年度の大阪教育大学柏原キャンパスのマテリアルバランスは下記のとおりです。



※1.中水は排水を再生処理してキャンパス内で循環利用しています。
※2.産業廃棄物460 m^3 は金属くず、木くず、廃プラスチック等を破碎した体積です。
※3.排水は実験排水、生活排水を排水処理施設で処理した後のもので、中水として利用しないものです。

環境負荷データ

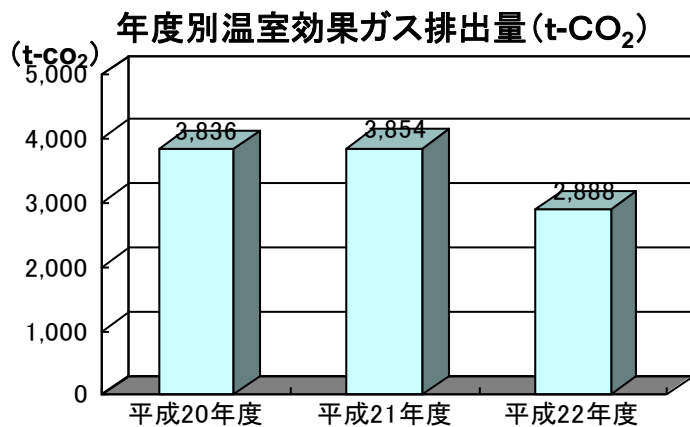
温室効果ガス排出量、エネルギー使用量は、空調に関わる割合が大きく、冬季と夏季に増大しています。

1. 温室効果ガス排出量

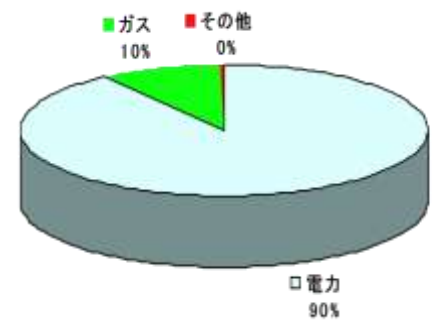
年度別温室効果ガス排出量 (t-CO₂)

区分	電力	ガス	その他	合計
H20年度	3,499	335	2	3,836
H21年度	3,499	346	9	3,854
H22年度	2,502	377	9	2,888
前年度比	28.5%減	9.0%増	0	25.1%減

注:その他は、柏原キャンパスで使用した灯油、ガソリンです。



エネルギー源別温室効果ガス排出割合 (平成22年度)



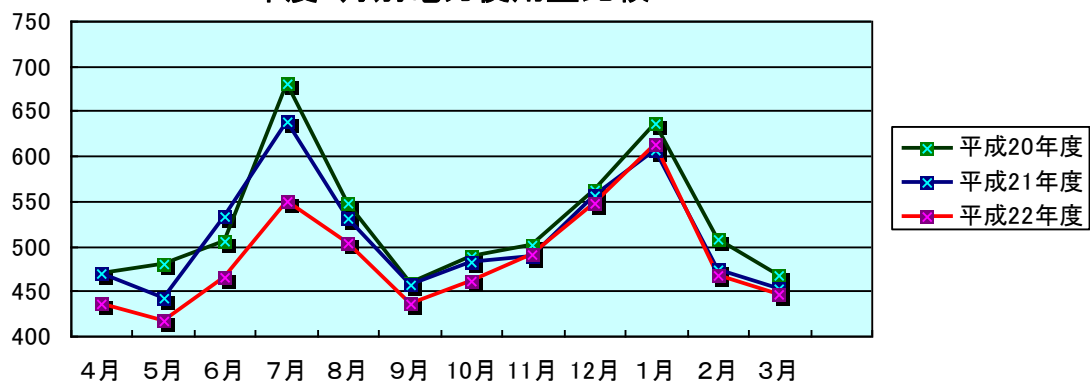
注: 電力のCO₂排出係数は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」第三条一項ロで定める数値を採用しました。

2. エネルギー使用量

年度別電力・ガス使用量

区分	電力 (単位:kWh)	ガス (単位:m ³)	太陽光発電 (単位:kWh)
H20年度	6,304,330	147,120	—
H21年度	6,128,727	151,771	—
H22年度	5,832,126	168,217	239,339
前年度比	4.8%減	10.8%増	—

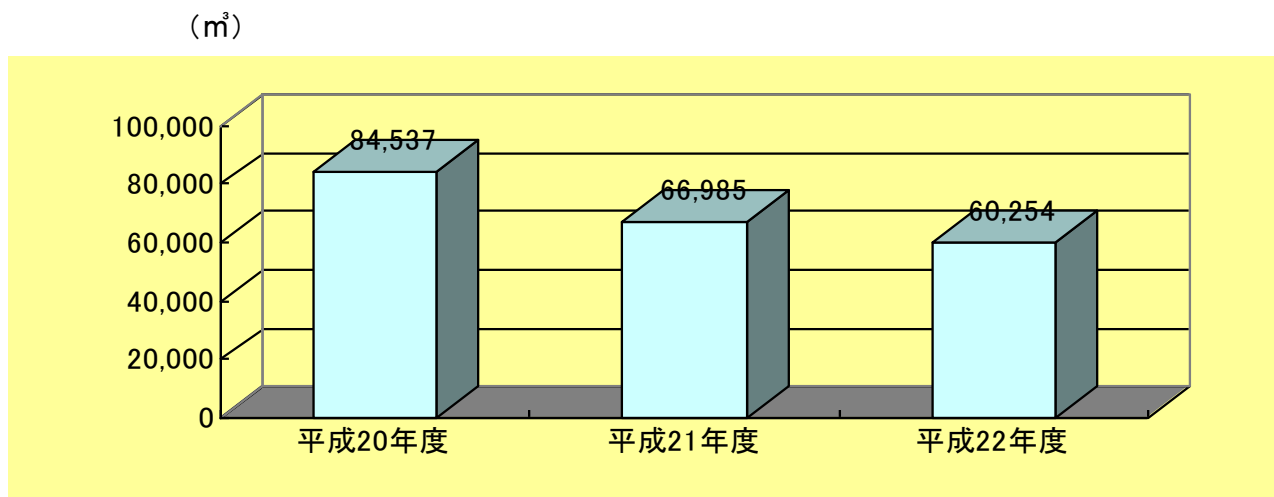
(千kWh) 年度・月別電力使用量比較



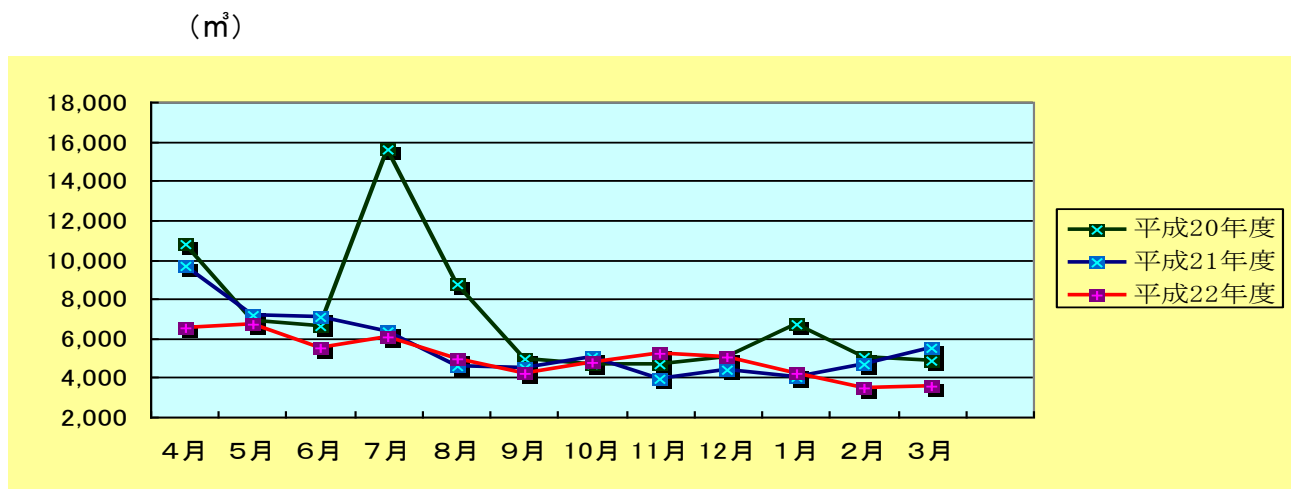
3. 上水使用量

掲示などの啓発活動や、自動水栓の導入やトイレの擬音装置の導入により、生活用水の節水に努めた結果、前年度に比べて10.0%減少しました。

年度別上水使用量



年度・月別上水使用量



環境マネジメント活動の推進

サン・シェードによる取組 (附属図書館)



図書館 西面

本学の図書館管理部門は3階最上階に配置され、部屋が配置されていない部分はルーフとし、中央部分は屋上緑化できるように工夫されているが、部屋の窓が西面しているため午後に太陽光が室内に入り込み、室内環境に大きな影響を与えていました。

環境の改善と省エネルギーの観点からアサガオによるグリーンカーテンを考えていましたが、屋上であるため散水の問題と密生するには時間がかかるということからテント生地サンシェードを窓から十分に離し、人間の出入りが可能なように工夫し取設しています。

室内に進入する熱量は、シェードのある部分とない部分で室温で2℃の違いがあります。これまではカーテンを閉め太陽光が入らないようにしていましたがそれをやめ、カーテンを開放することで、視線が開かれ、室内環境を大きく改善することができています。

なお屋上花壇の植栽についても、丈が伸びない芝を選定し、草刈等メンテナンスについても回数を減らす取り組みをおこなっています。

環境保全活動の状況

柏原キャンパスでは環境活動をしています。
本学が行っている活動を紹介します。

大阪教育大学柏原キャンパスでは
環境保全活動の一環として毎年7月と10月の2回
「キャンパスクリーン週間」を企画し教職員と学生の参加に
よる構内草刈りと清掃をおこなっています。



枯葉だけを集めるプロのような学長
(一斉キャンパスクリーンにて)



植物の成長におわれながら日々、
格闘する職員!!
雑草の刈り取り・樹木の伐採を毎日行っています。



視点場など効果的な緑地管理を考えた請負による緑地整備



省エネルギー活動

平成23年度大教大省エネルギー実施計画

本学は省エネルギー法の改正により、附属学校を含め第2種エネルギー管理指定事業場に指定され、毎年1%エネルギー削減、3年で3%の温室効果ガス削減が課せられていますが平成21年度は猛暑・厳冬の影響により目標を達成することができませんでした。柏原キャンパスでは「自然・人に優しいキャンパス」をコンセプトとしてECOキャンパスを目指しており、その一貫として太陽光発電を整備し、1年間運用をしてまいりました。その結果、当初の予定を23,600kw上回る発電量を得ることができています。

3月11日の東日本地震により日本のエネルギー供給システムが崩壊し、東京電力管内では法律に基づく節電命令が出され関西電力管内は節電の協力要請が出されています。

柏原キャンパスは電力会社エネットから受電しておりますが社会的貢献を鑑みて柏原キャンパスにおいては11%の削減を目標に省エネルギー活動に取り組むことを決め、省エネキャンペーン“クーラーよりもクールビズ”の活動を展開中です。

8月3日に柏原省エネルギー推進委員会が生協及び学生代表も参加して開かれ7月の省エネ状況が報告されました。節電率は目標-11%を遙かに超える-23%を達成しております。これは大学構成員皆様方、一人一人の協力が得られたことが大きな要因かと考えられます。今後は冬のピークに向け、ソフト面の対策と合わせてハード面の改善、改修を実施していくことが報告されています。

掲示板での呼びかけ

省エネキャンペーン“クーラーよりもクールビズ”の実施について (お願い)

本学構成員各位

大阪教育大学長
長尾 彰夫

本学エネルギーの使用の合理化に関する法律によりエネルギー管理指定事業場に指定されており、毎年1%のエネルギー削減努力義務が課せられています。また、地球温暖化防止対策として温室効果ガス削減目標が3年で3%課せられています。

しかしながら、平成22年度は猛暑、厳冬などにより平成21年度に比べ温室効果ガスが約4%増加しており、大口需要家としての義務を果たせておりません。東日本においては東日本大震災の影響による電力不足や関西方面においては夏に向け電力不足が懸念され、節電対策が求められています。

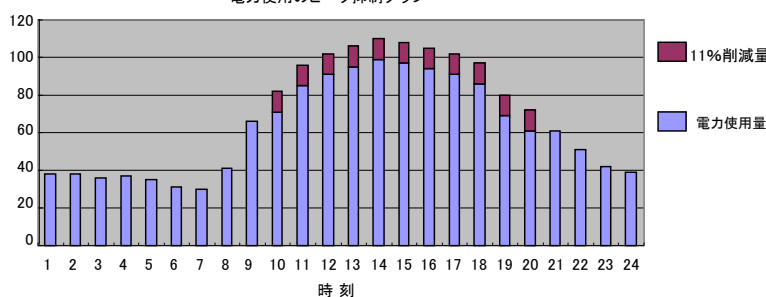
このような状況により本学においても、全学一体となってさらなる省エネキャンペーン“クーラーよりもクールビズ”を実施する事にいたしました。つきましてはよろしく協力をお願いします。

実施目標

平成23年7月1日～平成23年9月22日
前年度比瞬間最大電力11%以上の削減

- * 11%は電力会社の要請する数値に本学の太陽光発電による効果分(約4%)を勘案して設定しています。
- * 毎月電力使用量を分析し、増加部署へは注意喚起します。
- * 省エネの具体的な取り組みについては別紙チェックシートを参考にしてください。

電力使用のピーク抑制グラフ



省エネ推進会議



毎日デマンドを確認し掲示板に掲示しています。



平成23年度大教大省エネルギー実施計画

削減目標

光熱水費前年度比

-3%

(-7,000千円)

具体的実施項目

- ・省エネポスター掲示
- ・省エネステッカーの貼り付け
- ・省エネパトロール実施
- ・クールビズ・ウオームビズの励行
- ・未使用の部屋の消灯 →5%削減
- ・昼休み等休憩時間の消灯 →5%削減
- ・自然光の活用(日中は窓側消灯) →5%削減
- ・未使用部屋の空調機運転停止 →10%削減
- ・温度管理の徹底(冷房28℃・暖房20℃) →1℃調整で10%削減
- ・冷暖房期間中、ドア・窓の開け放し防止 →10%削減
- ・ブラインドの有効活用 →10%削減
- ・空調機フィルターの定期清掃 →5%削減
- ・外気冷房(夏期の早朝、夜間及び中間期)※網戸の活用
- ・PC等の省電力設定 →70%~90%削減
- ・不要な周辺機器をパソコンから取り外す
- ・PC等の長時間(約1時間30分以上)使用しない場合OFF
- ・冷蔵庫の設置を「弱」モード →「強」から「中」で11%削減
- ・テレビ等のリモコン電源ではなく、本体の電源を切る →2%削減
- ・日中で明るい場合は照明を消す →5%削減
- ・長時間使用していない機器はコンセントからプラグを抜く →2%削減
- ・長時間(2時間以上)使用しない電気ポットは、プラグを抜く →25%削減
- ・無駄な水使用を防ぐ
- ・エスカレーターの運転時間短縮

上記削減数値は、主に経済産業省資料より出典

大阪教育大学全体のエネルギー使用料金(附属学校園・生協等支払い分含む)

平成20年度 271百万円/年

平成21年度 240百万円/年

平成22年度 240百万円/年

平成21年度に柏原キャンパスに太陽光発電及びトップランナー(最も省エネ性能が優れている機器)空調機に更新して平成22年度の柏原キャンパスの電気料が減ったが、他キャンパスで増大したため大学全体としては変化はなかった。理由は昨年度は猛暑・厳冬が要因と考えられる。

省エネルギー削減 取り組み状況
 2011年度は省エネ11%削減実施中です。
 削減の取り組みをご紹介します。



本学学生制作ポスター



太陽光発電

本学柏原キャンパスは国定公園内に位置し、一定の緑地面積を確保することを条件に開発されたキャンパスであることから、自然・人にやさしいECO(エコ)なキャンパスを目指しています。大学の環境は2学期制の導入やPCなどの機器の増加により年々、必要なエネルギーが増えてきていますが、商業用電気の購入に依存するだけでなく、自ら自然エネルギーによる発電をおこないCO2の削減に努めています。

本設備は平成22年度より運用を始めています。平成22年度発電は239,000kwh/年を確保しています。この発電によるエネルギーは民家50軒分に相当し、構内附属図書館の照明空調機用エネルギーに相当します。CO2については102トン削減したのと同じ効果があります。

大阪教育大学 太陽光発電のシステム

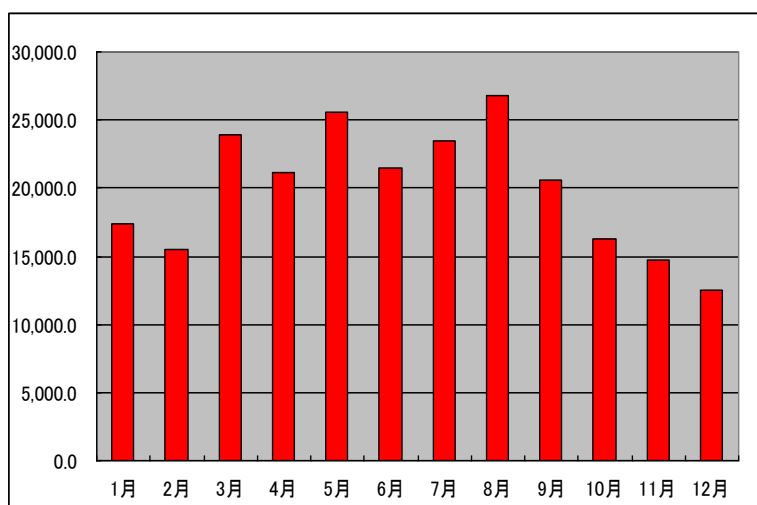


柏原キャンパス 太陽光発電システム

200kWシステム
太陽電池パネル 960枚
施工 平成21年度
設置費用 1.5億円

年間発電量

平成22年度太陽光発電実績



239,000kwh
年間電気使用量を、4.1%削減

CO2排出削減量102トン

- ・森林面積換算で、柏原キャンパスの約4割相当の森林分、貢献している
- ・森林面積換算で、大教大サッカー場34個相当の森林分、貢献している
- ・環境負荷低減効果に換算すると、1500万円/20年になる

グリーン購入・調達の状況

大阪教育大学大学生協における環境への取り組み

☆複合店におけるグリーン購入の推進

複合店文具品コーナーでは、グリーン購入法適合商品を中心に取り扱っています。



全商品とも単品購入時に、レジ袋使用の削減を呼びかけています。

☆テイクアウト弁当容器にリサイクル紙容器「ホッかる」を採用

「ホッかる」は紙とフィルムできており、紙とフィルムは簡単に分別できる構造で紙部分は再生紙(主にトイレtpーパー)としてリサイクルが可能である。

昨年度に引き続き、この「ホッかる」弁当容器をテイクアウト弁当容器として採用し、レジ袋に入れずに販売しています。



☆食堂全店舗における食器洗浄機用洗剤に環境へ配慮した洗剤を採用

食堂4店舗4ヶ所の洗浄機において、食器洗浄機用洗剤に苛性分やリン分を含まない洗剤を採用しています。

また、厨房内の節水および節電を心掛けるようスタッフ全員に指導しています。

☆自販機は、昼間の照明消灯やピークカットの設定をしています

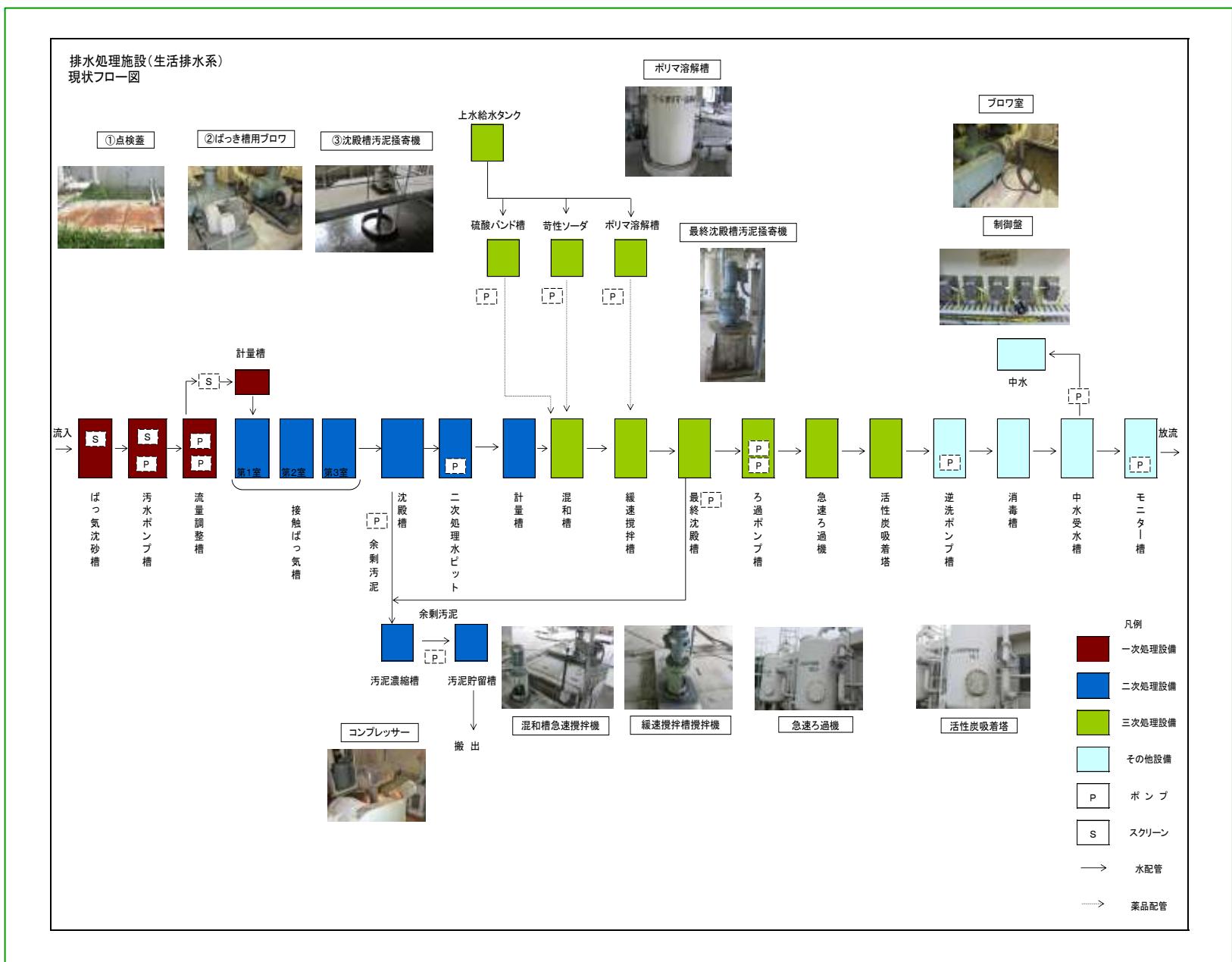


自動販売機の照明は、日中は消灯しています。
また、缶ペットボトル自販機のほとんどに、夏期の電力ピークの間帯にコンプレッサーを一定時間停止する「ピークカット」機能を設定しています。



中水について

生活系で使用した排水を生活排水処理施設で処理し、トイレの洗浄水、樹木など散水として循環利用を図っています。



地域貢献

アートコンポスト



柏原市環境フェアで アートコンポスト制作



菜の花、ひまわりなど黄色の草花を題材にしたアートで地域をおおい、循環型社会の構築につながる取り組みを進める「イエローライン・プロジェクト」のメンバーが「柏原環境フェア」に参加しました。当日はこどもたちがアートコンポストの制作に協力してくれました。

柏原市環境フェアで制作されたアートコンポストをキャンパス内の空地に設置し、キャンパスの枯枝、草を集め腐葉土の種づくりに使用しています。また、昨年のコンポストには花を植え、皆さんに“きれい”と言ってもらうのを喜びに有機肥料による環境教育を実践しています。この環境報告書の表紙になっている“ひまわり”も先生方が計画・実践されている取組のひとつ“イエローライン・プロジェクト”により植えられた柏原キャンパス附属図書館南側のひまわりです。この種で来年はもっとたくさんひまわりが見られること、ラインが面に生長することを楽しみにしています。

イエローライン・プロジェクト



教員免許状更新講習



4, 500人余の規模で平成23年度免許状更新講習を実施

今年で3年目を迎えた教員免許状更新講習が7月25日より柏原・天王寺両キャンパスでスタートしました。申し込み数(予約)は、必修・選択を合わせて、昨年度実績を大きく上回っており、全国から申し込みが殺到しました。受講者アンケートによると、1年目、2年目ともに更新講習の評価が高く、それを裏付けた結果といえます。

今年度は、30講座の必修講習と、44テーマの選択講習を開設しました。受講者は、教育についての省察や子どもの変化等を内容とする必修講習のほか、教科指導・生徒指導など教育の充実に関する内容の選択講習を、講義、実技、実験、演習、ワークショップ、グループワークなど多彩なスタイルで学びます。

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、平成21年4月1日から教員免許更新制が導入され、本学では、教育と研究の蓄積をいかした講習を開設しました。いずれの講習も学問研究の先端的な知識と情報を提供し教員に必要な最新の知識・技能の習得を目指しています。

柏原キャンパスマップ 配置図



1 共通講義棟 H2 RC3F 7, 078㎡
講義室、視聴覚教室、情報処理実習室、LL教室などがあります。



2 教養学科棟 H3 RC4F 12, 894㎡
講義室、実習室、研究室などがあり、教養学科の講義、研究が行われています。



3 教員養成課程棟 H3 RC4F 19,010㎡
講義室、実習室、研究室などがあり、教員養成課程の講義、研究が行われています。入試課はC1棟1階にあります。



4 事務局棟 H6 RC4F 4, 369㎡
学務部のほか、管理部、学術部などがあります。



5 美術棟 H3 RC3F 2, 659㎡
絵画室、デザイン室、書道室、講義室、研究室などがあります。



6 工房棟 H3 RC1F 797㎡
彫刻室、金工室、立体室、木工室、窯工室、研究室などがあります。



10 学生宿舎 H5 RC5F 2, 560㎡
男子学生宿舎(収容定員60名)が1棟、女子学生宿舎(収容定員60名)が1棟あります。



13 図書館
H3 RC3-1F 7, 224㎡



11 留学生宿舎 H6 RC4F 1, 004㎡
40室(収容定員男性18人、女性22人)あり、留学生に居住の場を提供しています。



14 体育館
H4 RC1F 1, 770㎡



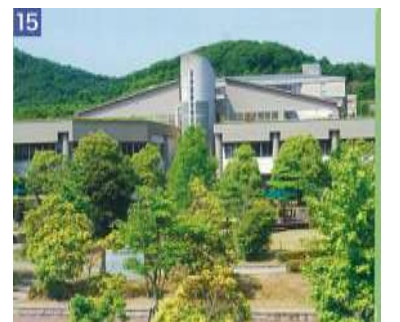
12 課外活動共用施設 H6 RC2F 1, 989㎡
体育系共用室、文化系共用室、合宿室などがあり、課外活動の拠点になっています。



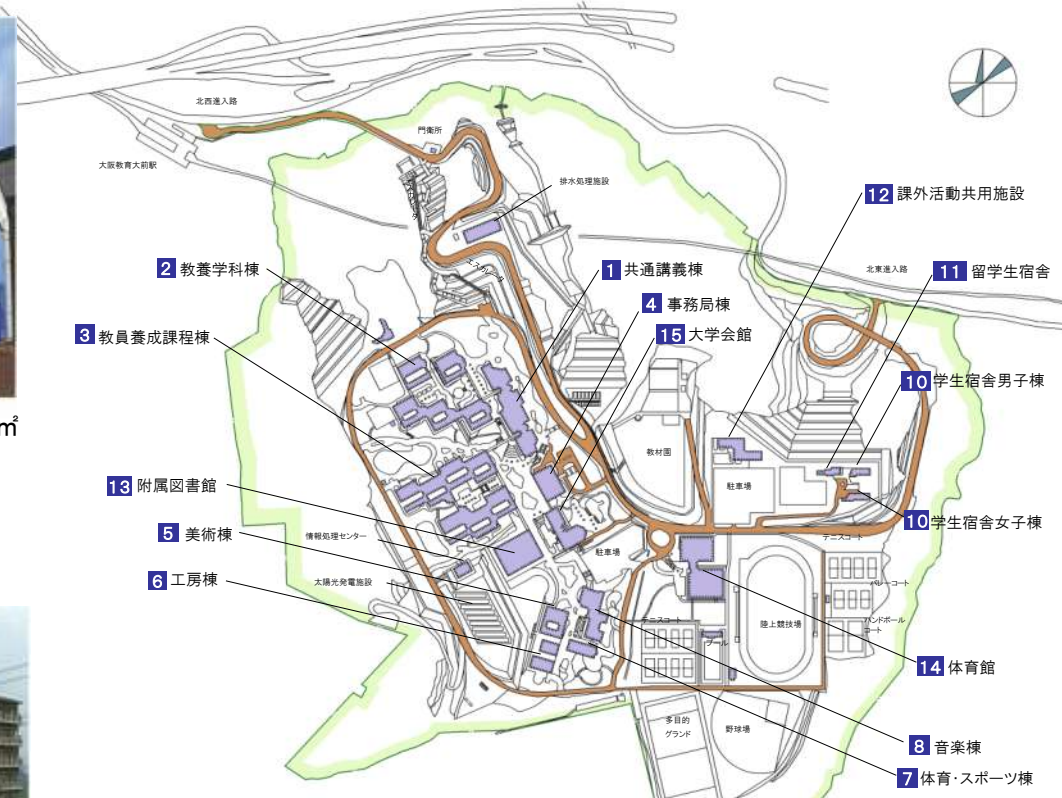
7 体育・スポーツ棟 H3 RC4F 1, 745㎡
実験実習室、講義室、セミナー室、研究室などがあります。



8 音楽棟 H3 RC4F 4, 084㎡
リハーサルホール、実習室、練習室、講義室、研究室などがあります。



15 大学会館
H3 RC4F 3, 677㎡



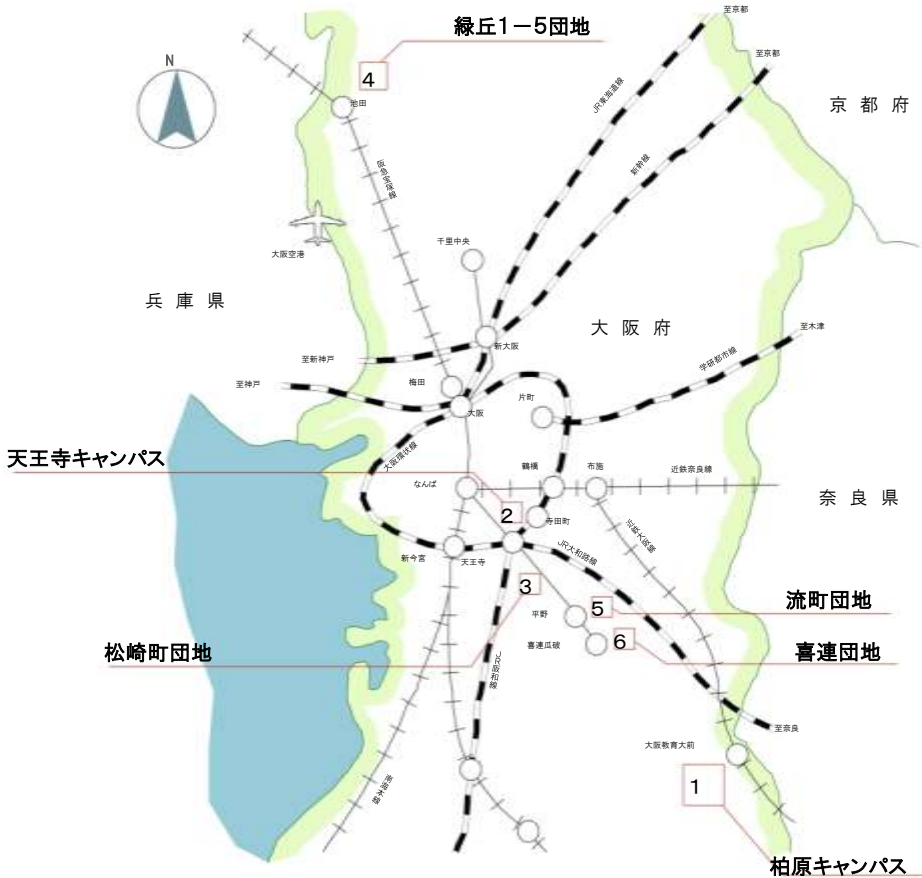
団地の所在地

柏原地区

- 1** 柏原キャンパス
大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

天王寺地区

- 2** 天王寺キャンパス
大阪市天王寺区南河堀4-88
天王寺中・高等学校
大阪市天王寺区南河堀4-88
- 3** 松崎町団地
天王寺小学校 大阪市阿倍野区松崎町1-2-45



池田地区

- 4** 緑丘1-5団地
池田小学校 池田市緑丘1-5-2
池田中学校 池田市緑丘1-5-1
池田高等学校 池田市緑丘1-5-1

平野地区

- 5** 流町団地
附属幼稚園 大阪市平野区流町2-1-79
平野小学校 大阪市平野区流町1-6-41
平野中学校 大阪市平野区流町2-1-24
平野高等学校 大阪市平野区流町2-1-24
- 6** 喜連団地
特別支援学校 大阪市平野区喜連4-8-71

キャンパスの特徴

大阪教育大学には柏原キャンパスの他、11の附属学校園が設置されている。大阪市内の天王寺地区及び平野地区、大阪府北部の池田地区に分かれて置かれ、いずれも大学との連携のもと、教育研究・教育実践・教育実習の場として重要な役割を果たすとともに、それぞれ地区ごとに連絡進学をはじめさまざまな相互連携をとり、下記のような特徴を持っている。

○柏原キャンパス

平成元年より天王寺、平野、池田より統合移転し、大学の本部を置くキャンパスである。

○天王寺地区

教育学部(二部)、大学院(夜間)と附属天王寺小学校、附属天王寺中・高等学校を有するキャンパスで「基礎・基本の確かな育成」「中高一貫教育の長い歴史」を目標にしている。

○池田地区

附属池田小学校、附属池田中・高等学校を有するキャンパスで「生きる力の育成・国際教育の基盤作り」「国際教育・国際理解教育と異文化交流」を目標にしている。

○平野地区

附属幼稚園、附属平野小学校、附属平野中・高等学校、附属特別支援学校を有するキャンパスで「相互連携した教育・研究」「5校園構想への取組みと異校種交流学習」を目標にしている。



本環境報告書は大阪教育大学の省エネキャンペーン“クーラーよりもクールビズ”など節電への積極的な活動をはじめ、環境配慮活動についてまとめたものです。さらなる本書の充実と本学環境への取組についてご指導・ご指導、ご支援をお願いいたします。

お問い合わせ先

国立大学法人大阪教育大学
管理部施設課企画係

電話：072-978-3333

mail: sisetuka@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

URL:<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/>